

新中学校開校準備委員会だより No.14

令和5年12月

修善寺・中伊豆・天城地区新中学校開校準備委員会事務局（伊豆市教育委員会学校教育課内）

校章案、(仮称)「伊豆探究」について活発に意見が交わされました

第15回新中学校開校準備委員会を11月21日(火)に中伊豆支所で開催しました。

今回は校章作成委員から提案された校章案と事務局(総合学習ワーキンググループ)が提案した総合的な学習の時間(仮称)「伊豆探究」についての意見交換を行いました。

校章案は、準備委員会だよりNo.12でもお知らせしていますが、原案のまま校章案となりうる応募作品がなかったため、作品に込められた要素を活かしながら、校章作成委員会が再構成したものです。

制服につけるエンブレム(ワッペン)と体育着のマークのデザイン案については、それぞれ2案ずつの候補があり、最終決定には児童生徒による投票結果も参考にしていくことになりました。

投票は小学校4年生から中学校1年生を対象に、12月中に各学校で行います。1月の校章作成委員会で、最終案を決定し、開校準備委員会に提案する予定です。

なお、総合的な学習の時間(仮称)「伊豆探究」については、裏面で紹介していますのでご覧ください。



全体会で近くの委員と活発に意見を交わす様子

開校まであと1年～令和6年度に向けての動き～



各学校では、次年度に向けた教育課程の編成の時期を迎えています。

中学校では、日課や年間行事等、令和7年度の新中学校スタートを見据えた計画を立てています。年間行事については、例年行われているものに加え、交流事業の実施や引っ越し作業、閉校式や開校式等といった例年ない事業が入ってきます。子供たちの学習活動に影響が出ないように、全体を見ながら計画を進めています。

入学準備始まる

新中学校の制服は、今年の1年生から着用し、新中学校の開校時には、すべての生徒が新しい制服に移行します。

制服の採寸時期が迫っていることから、現6年生の保護者を対象に、制服や指定用品に関する説明書を配布しました。

各中学校の新入生説明会は、例年どおり2月に予定しています。学校生活全般に関することや学習、部活動等について説明があります。

学校間の交流を進めます！

新中学校では、多くの生徒が新しい環境や人間関係に期待をする一方で、不安も生じます。

そこで、令和6年度には、お互いの顔を知って少しでも身近な存在になれるよう、各学校間の交流を意図的に計画します。小学校6年生(現5年生)から中学2年生(現1年生)までの児童生徒が、学年ごとに年2回程度の対面による交流を行い、日常的には生徒会活動などでオンラインによる交流を行います。対面による交流は、スポーツ、レクリエーション等を考えていますが、詳細は各学校から提案があります。

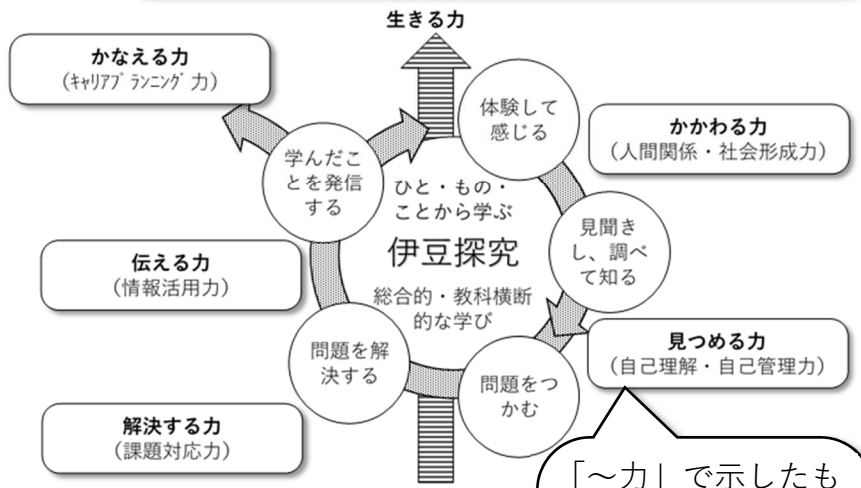
(仮称)「伊豆探究」について

新中学校の特色ある学びの一つとして計画しています。地域とのつながりが成否の鍵になります。

下の表は3年間の学習内容を示しています。ここで**ユニット**とは学習内容ごとのまとまりを指します。

右の図は、**1つのユニットでどのように学びが行われるか**を示したものです。例えば1年生の「地域を知る」ユニットでは、実際にジオスポットを見学し、ガイド等の説明を聞くことから学習が始まります。その中で特に興味をもったことについてさらに詳しく調べ、調べたことを自分なりの方法で発信し、他者からフィードバック（評価）を受けます。

この学習を各ユニットで繰り返し行っていくことで、図に示した五つの「～力」が育っていくと考えています。1つのユニットですべての力が身に付くわけではなく、こうした学びの積み重ねによって少しずつ獲得していくものです。さらに、ここでの学びが各教科の学びとつながることによって、生きて働く学力として定着していきます。



「～力」で示したものは、**何ができるようになるのか**という視点を示したもので、こうした力をまとめて**資質・能力**と言います。



テーマ 「地域を活性化（持続可能なものに）するためにはどうしていったらいいか」

| 学年 | 1学期 | 2学期 | 3学期 |
|----|---|---|---|
| 3年 | 地域の課題を見つける② (地域活性の工夫) ・修学旅行 ・伊豆と比較して ・資料収集・探究活動 | 伊豆市への提言を発信する (ふるさと伊豆の未来) ・提言作成 ・地域の方からアドバイス ・提言のまとめ ・発表、発信 | 自分の生き方を考える (新しいステージへ) ・自己PR ・わたしの夢 |
| 2年 | 地域の一員としてのわたし② (わたしの未来②) ・働く上で大切なこと ・職場体験 ・高校調べ | 人々の暮らしを守る② (ふるさとを守ろう) ・身近な自然災害 ・地域防災 ・図上訓練、救急救命講習 | 地域の課題を見つける① (地域活性の工夫) ・著名人講話 ・伊豆市の産業 ・修学旅行コースづくり |
| 1年 | 地域を知る (世界に誇るジオパーク) ・伊豆半島の成り立ち ・自然の恵み ・ジオ探検 | 人々の暮らしを守る① (人にやさしい街・伊豆) ・福祉制度の理解 ・福祉体験 | 地域の一員としてのわたし① (わたしの未来①) ・10年後のわたし ・伊豆市の産業 ・職場体験準備 Webページの作成 (学んだことを発信する1つの方法) 各学年の計画にプログラミング学習 (テキストコーディング等)を組み入れる。 |

準備委員の意見・感想

- ・地域の自慢と誇り、弱みを知ることによって学びが深まり、資質能力が高まっていくところが良い。
- ・計画を見たときに、昔と違って今こんなことを学んでいるということがわかった。
- ・こういった学習が高校の探究学習にもつながっていくので、小学校や中学校でのこのような学びはとても大切になる。
- ・素晴らしいことなので、もっと地域へ発信していろんな方に知って（協力して）もらいたい。
- ・地域の方々からも協力したいという声があり、コロナで途絶えてしまった活動もあるが、うまく今後につなげられるとよい。